

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2002年7月16日

高温・乾燥の一週間となった。この為土壌水分は減少し、冬小麦の生育状況は前週より多少悪化した。北中央地区、東北地区で100度以上を記録したこの週の州平均農作業可能日は6.2日であった。Topsoilの水分は、州の32%の圃場で“極めて不足”、37%で“不足”となっている。“適”と報告されている圃場は29%と成っている。冬小麦の生育状態は、Very poor:7%、Poor:24%、Fair:47%、Good:19%、Excellent:3%と成っている。昨年同期並びに5年平均より良い状況である。冬小麦は98%が穂孕み期（平年100%）、出穂は95%（昨年及び平年同期では100%）である。高温・乾燥により登熟が早まっており、63%の冬小麦がTurning colorに到達した（前週末では17%）。但し、平年同期では76%であり遅れている。春小麦の89%（前週末60%）が穂孕み期であり、昨年（97%）並びに平年（95%）より遅れている。春小麦の63%が出穂した。

2002年7月14日現在

土壌水分：

Topsoil

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	32	17	17	13
Short (%)	37	39	34	35
Adequate (%)	29	43	48	50
Surplus (%)	2	1	1	2

Subsoil

Very short (%)	37	35	37	21
Short (%)	38	42	35	35
Adequate (%)	25	23	28	42
Surplus (%)	0	0	0	2

冬小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	7	24	47	19	3
Last week (%)	8	20	43	24	5
Last year (%)	35	41	17	7	0
5-yr. Ave. (%)	10	20	33	31	6

春小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	3	10	38	40	9
Last week (%)	3	5	31	50	11
Last year (%)	23	20	23	30	4
5-yr. Ave. (%)	7	13	31	41	8

モンタナ州：小麦作柄と気象状況
2002年7月9日（続）

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Winter wheat				
Boot (%)	98	96	100	100
Headed (%)	95	90	100	99
Turning (%)	63	17	83	76
Spring wheat				
Boot (%)	89	60	97	95
Headed (%)	63	29	85	81
Turning (%)	14	2	26	14

Source: Montana Agricultural statistics Service